

佐治地域づくり計画

(令和8年4月～令和18年3月)

さ～じっこう！

誰もが住み続けたいまち・むらづくり



令和8年4月

佐治地域自治協議会

佐治コミュニティセンター「佐治来楽館」



丹波市青垣町佐治 619-2

TEL 0795-87-2608

FAX 0795-87-2610

I はじめに

平成 18 年に佐治地域自治協議会（以下、「本会」という。）を設立し、地域住民の皆様方のご協力により、地域づくり事業に取り組んできました。

丹波市（以下、「市」という。）は、市のまちづくりに関する最高規範として位置付けされる「丹波市自治基本条例（平成 24 年 4 月 1 日施行）」を制定し、その中で「自治協議会は、自からが取り組む活動方針、内容等を定めた地域づくり計画の策定に努めるものとします。」と謳っています。

市は、平成 23 年度に地域の活性化を目的とする丹波市元気な地域づくり特別事業交付金（以下、「交付金」という。）制度（平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 カ年）を創設しました。

本会では、平成 23 年度に元気な地域づくり計画を策定し、翌年度から交付金事業に着手し、拠点施設の佐治来楽館の整備（調理室の増設、防音改装、交流広場の整備、等々）、各地区のウォーキングコースの整備、伝統文化の継承、各種マップの作成、イベント用備品の購入等々、地域の活性化に向けた基盤整備を行って参りました。平成 28 年度には、新しい地域づくり交付金制度を活用するため、これまで取り組んできた元気な地域づくり特別事業や地域づくり事業のうち継続が必要な内容や新たな課題を精査しながら、10 年間の基本計画・実施計画として、佐治地区全体のあるべき姿を整理した「地域づくり計画」を作成し計画に沿って事業を展開してきましたが、課題が残るものもありました。

令和 7 年度には、佐治地域づくり計画策定委員会を立ち上げ令和 8 年度から 10 年間の佐治地域づくり計画を作成し、今後、当計画の具現化に向けて本会を中心に、地域のみなさんとともに積極的に活動を進めて行きます。

II 現状と課題

1 現 状

当地区は、丹波市青垣町の中心地に位置し、宿場町の面影を偲ばせる街並みの区域と加古川を挟んで、東西に農村区域が広がり“まち”と“むら”が混在した地域です。

“まち”の商店街は店舗数も少なくなり、昔のような賑わいがなくなりましたが、佐治活性化委員会が中心となりイベントの開催や関西大学佐治スタジオ（佐治倶楽部）では空き家の利活用事業に取り組むなど、商店街の復興に向けた取り組みもされております。

“むら”の農業経営は水稻栽培が中心で、経営形態も専業農家が無く、兼業農家が多い状況です。

地域内には、丹波市役所青垣支所、青垣診療所、青垣小学校、青垣中学校、県立氷上西高等学校、認定こども園あおがき、社会福祉協議会西部支所青垣分室等の公共的施設が集中しています。

本会を構成する 22 の自治会は、世帯数が 20 戸未満の自治会が 10 自治会、20～40 戸未満が 9 自治会、40～50 戸未満が 1 自治会、50 戸以上が 2 自治会と小規模の自治会が多く、また、高齢化率が 50%を超える限界集落（自治会）は 6

自治会、高齢化率 40%以上 50%未満は 5 自治会存在し、今後も高齢化率 50%以上の自治会が増加すると考えられます。

2 課題

《自治会活動》

- ・ 少子高齢化が進み、小規模自治会では単独での活動が困難な状況です。近隣の自治会との連携や、地区（中央西・中央東・川西・川東）内の連携等協力体制を図る必要があります。
- ・ 自治会の役員に女性参画が進んできていますが、まだ少ない状況です。自治の意思決定の場に女性が参画することは大事です。

《健康・福祉》

- ・ 独居老人や高齢者夫婦世帯が増えている状況があります。自治会・公共機関・ボランティアグループとの連携を密にし、地域での見守りや引き籠りにならないように高齢者の集いの場づくり等が必要です。
- ・ 自治協議会の拠点施設である佐治来楽館は、昼間の利用がまだ少ない状況です。子どもから高齢者までがつどえる場としての機能を充実させるため、駐車場の拡充、設備の充実、カフェ事業、憩いのスペース等、施設の整備や活用方法を工夫する必要があります。

《教育》

- ・ 佐治地域は青垣地域の保育・教育施設すべてが集中しています。子どもと地域の関わり、登下校の安全確保等について、関係機関と連携を図り支援をしており、今後も継続して子どもの安全確保等支援が必要です。
- ・ 子どもたちの学びを地域で支える「きらく教室」を夏休みの期間に開講しています。今後も子どもたちの学びの場を守るため、地域、PTA、小中学校、学校運営協議会、子どもを育む協議会、各協議会（振興会）、ボランティア等と連携を図る必要があります。

《防災・防犯》

- ・ 全国的に異常気象による大規模災害や地震が発生しています。消防本部・消防団とも連携を図り、災害時に備えての防災訓練を実施する必要があります。
地域内では高齢化が進み、災害時における救援者がいない自治会も見受けられます。また、地域内の高校生や中学生が災害時にどのような協力ができるのか、教育機関とも連携を図り、防災学習等の実施も検討する必要があります。
- ・ 自治会の自主防災計画の策定・改編を推進する必要があります。
- ・ 盗難・車上荒らし・振り込め詐欺等の犯罪を未然に防ぐために、警察・関係機関・自治会の防犯委員さん等と連携をはかり、防犯にかかる啓発活動を行う必要があります。

《伝統文化の継承》

- ・ 地域にある伝統芸能（三番叟等）・伝統工芸（丹波布等）、伝統行事（祭り等）、史跡等の記録・保存をすると共に、地域の伝統文化を継承していく必要があります。

《地域づくり》

- ・個人所有や市所有も含め、空き家や遊休地が増加しています。防犯・環境の面からも、その利活用が求められています。
- ・移住者と共に住み良い地域づくりを目指すことが求められます。
- ・スポーツに触れる機会が少なくなっています。健康維持のため簡単にできるスポーツの推進をし、スポーツに触れる機会を増やす必要があります。
- ・来楽館では、佐治菜園サークルによる野菜等の無人販売所を設置し地域の方に新鮮な農産物を提供しています。今後も、継続して地域の方に新鮮な野菜等を提供できるようサークル活動の支援をする必要があります。
- ・青垣町では、少子高齢化が進み、高齢者世帯が増加しています。今後も独居老人や高齢者のみの世帯が増加し買い物支援や移動支援、産業振興など様々な課題に対応しなければならない状況になると考えられます。これは、青垣町全体に共通する課題であり青垣町内の自治協議会・自治会・各種組織等が連携協力し課題解決に取り組む必要があります。

令和7年4月に設立した青垣地域活性化ネットワーク協議会（青ネット）は、青垣地域が共通して抱える課題の解決に取り組む推進母体として組織しました。自治協議会はその組織メンバーとして、青ネットの活動と連携し、地域課題の解決に取り組んでいきます。



Ⅲ キャッチフレーズ

さ〜じっこう！ 誰もが住み続けたいまち・むらづくり

Ⅳ 基本計画・基本方針（目標）・実施計画

基本計画	基本方針（目標）	実 施 計 画	備考(事業例)
世代を超えた学びと交流、多文化共生の地域づくり	すべての住民が参加したくなる楽しい生涯学習の機会を作ります	・全年齢の住民が参加できる事業を行う	野菜づくり、料理、手工芸など地域住民の得意技を生かした講座
		・人権学習の推進	人権劇、人権ビデオ、映画等の鑑賞 各自治会での人権学習
		・学校のカリキュラムと連携し子どもたちの学びを地域で支援する	ふるさと学の支援 きらく教室
	外国や国内の移住者との交流を深め、新しい地域づくりを進めます	・外国人移住者とのコミュニケーションや共生意識の向上を図るため多文化交流事業を実施する	地域及び移住者の伝統文化等を取り入れた交流
		・移住者の困りごとのサポートを行う	生活相談会
	個性と能力を発揮する人材の参画を推進します	・ボランティア活動等の支援をする	
		・自治協議会や自治会の役員に女性の参画を進める	

基本計画	基本方針（目標）	実 施 計 画	備考(事業例)
健康寿命を延ばす地域づくり	住民みんながいきいきと暮らせる地域の取り組みを行います	・健康、福祉講座の開催	
		・高齢者友愛訪問の実施	
		・健康増進を図るため誰でも楽しめるニュースポーツを普及する	モルック、囲碁ボール、ゲートボール、いきいき百歳体操など
		・外出のきっかけとなる交流事業を実施する	サロン、カフェ
地域資源を生かした、住民が触れ合う地域づくり	自然や文化の保持だけでなく、佐治らしい暮らしの良さを地域資源として再認識します	・伝統芸能・工芸・行事、史跡の保存及び伝承への協力をする	青垣翁三番叟、丹波布、各地域の秋祭りや史跡など
		・ウォーキングコースの利用を推進する	ウォーキングコースの点検、整備
	まち・むらそれぞれの風土が育んできた取り組みを通じ、住民のふれあいを維持します	・各地区の自治会と自治協議会が連携・協力し、中央・川西・川東地区それぞれの地域資源を活かした事業を推進する	
	各世代や属性の住民がまちづくりに関われるよう段階的に取り組みます	・大人から子供まで楽しめ、各世代のコミュニティが形成される事業を行う	佐治川まつり、八宿祭りなど
		・佐治来楽館の立地を活かし、各世代や属性に応じたコミュニティを形成する	
		・活動の活性化に伴い「佐治来楽館」の計画的な整備を図る	拠点施設整備

基本計画	基本方針（目標）	実 施 計 画	備考(事業例)
安心安全で暮らせる地域づくり	高齢者・子どもの安心安全確保と災害時の対策を確立し安心安全な地域づくりに取り組みます	・子どもの安全を確保するため、地域全体で子どもを見守る体制を整える	こども 110 番
		・高齢者世帯を地域全体で支える	あんしんカード、地域での声掛け・見守り
		・災害時等における自治会ごとの地域防災力の強化を図る	要援護者の把握、防災訓練、AED 講習会等
	地域の環境美化や自治会の持続可能な組織づくりに取り組み快適な生活環境を確立します	・地域の豊かな自然環境を良好に維持するため、草刈作業等、環境維持に努める	ラジコン式草刈機貸出システムを利用し、道路・河川・遊休農地等の草刈り
		・持続可能な住民自治の組織づくりを自治会と連携して推進する	
青垣地域活性化ネットワーク協議会（通称「青ネット」）との連携	青垣地域が共通して抱える課題解決のため、「青垣地域活性化ネットワーク協議会」の活動と連携し、地域課題の解決に取り組みます	・青垣地域が共通して抱える地域課題の解決に取り組む	地域文化の伝承、産業振興、生活の安全安心対策、消防・医療・福祉の充実、都市と地域の交流、移住者の対策など

V 活動の評価と見直し

毎年度、理事会及び自治会長会で事業の見直しを行います。

- ①活動の評価（費用対効果など）
- ②今年度の活動の反省点
- ③来年度へ向けての取り組みの改善点
- ④来年度に向けた新たな取り組み

VI その他

●計画策定の経過

6月 3日	計画の趣旨説明（全体会）
7月 4日	地域づくりの現状と課題、策定に係る進め方他（全体会）
8月 22日	地域づくり計画の策定について（全体会） 班別協議（8月22日～10月31日）
11月 28日	班別協議結果について調整（全体会）
12月 12日	基本計画の検討 他
1月 20日	パブリックコメント実施（2月10日まで）
2月 20日	パブリックコメントまとめ、回答
2月 27日	地域づくり計画（案）の最終調整
4月 24日	通常総会において承認

●地域づくり計画策定メンバー

古川正孝 足立義和 横井 勝 荒木康司 伊賀義樹 今中清孝 中川重之
太田一誠 松重保世 足立恵美 松重友七 出町 慎 中島美和子
宮垣由美子 足立さえ子 足立美穂 中川ミミ

●地域の施設一覧

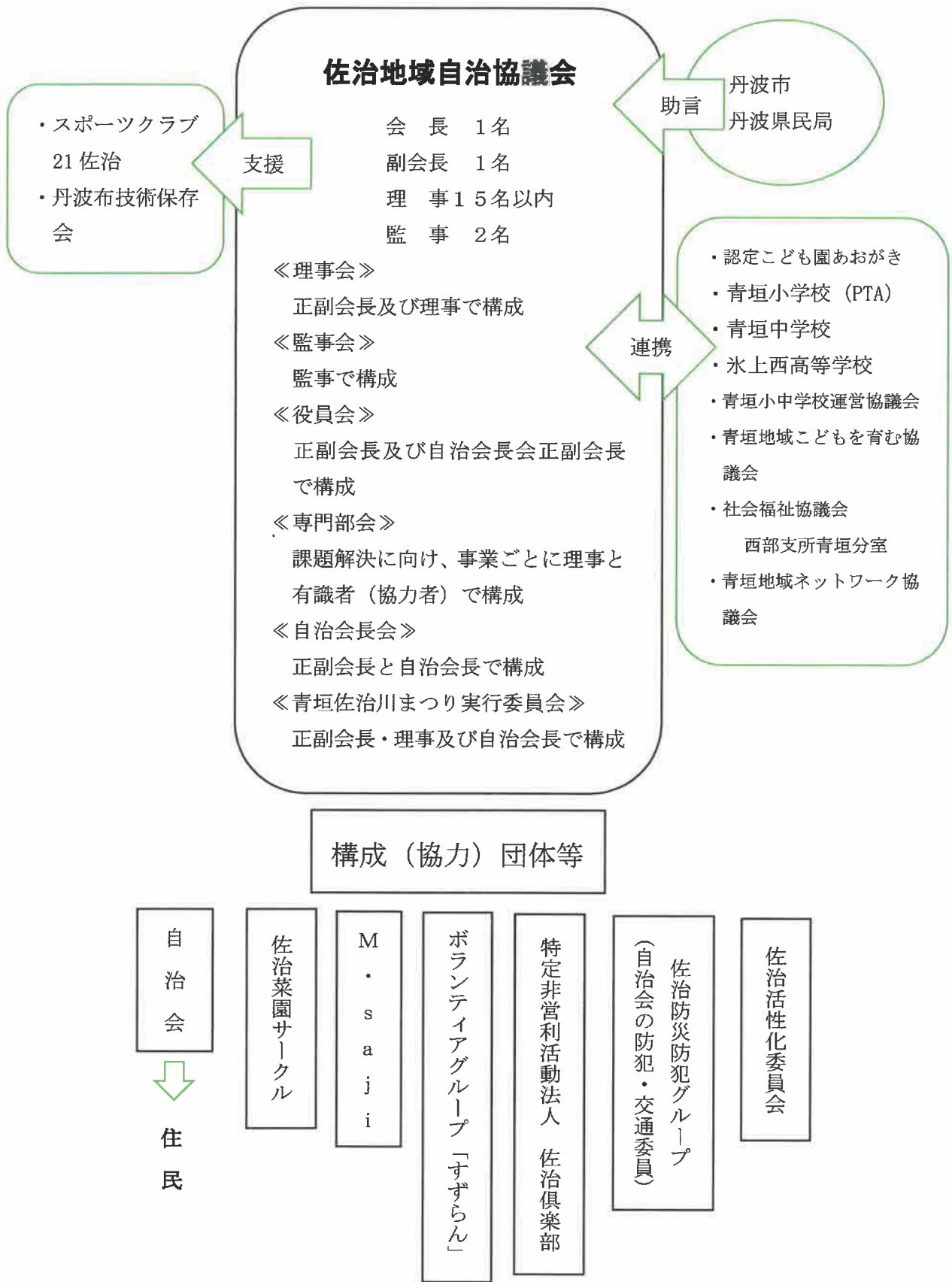
『行政施設』	青垣住民センター（支所機能・図書館・浄化槽管理組合）、国保青垣診療所
『教育施設』	青垣小学校・青垣中学校・氷上西高等学校
『児童施設』	社会福祉法人青垣福祉会「認定こども園あおがき」
『県の施設』	兵庫県森林動物センター
『団体施設』	丹波市森林組合、丹波ひかみ農業協同組合青垣支店
『その他』	社会福祉協議会西部支所青垣分室 青垣郵便局、中兵庫信用金庫青垣支店

●添付資料

- ・組織図
- ・年代別人口及び高齢化率（令和7年3月末現在）
- ・施設及び資源の分布図



《組織体制》



《年代別人口及び高齢化率》

(令和7年3月31日現在)

自治 会名	年齢別人口										総人口	高 齢 化 率 (%)
	1 0 歳未 満	1 0 歳代	2 0 歳代	3 0 歳代	4 0 歳代	5 0 歳代	6 0 歳代	7 0 歳代	8 0 歳代	9 0 歳 以上		
新 町	3	24	13	8	21	19	26	21	11	7	153	34.6
新川町	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	5	40.0
東 町	0	1	0	4	2	2	3	6	4	0	22	54.5
中 町	3	4	6	6	6	11	13	19	8	5	81	48.1
荒神町	2	3	3	8	3	10	8	12	6	5	60	45.0
愛宕町	1	1	3	0	3	2	4	7	4	2	27	55.6
上 町	3	3	0	3	6	1	13	10	4	5	48	60.4
本 町	5	3	4	5	5	8	6	13	5	2	56	37.5
大正町	4	16	11	8	17	18	20	15	10	7	126	37.3
佐治団地	1	4	2	0	3	3	5	2	1	0	20	20.0
小 倉	6	13	9	7	11	21	11	29	8	2	117	35.9
森	12	7	8	8	10	3	11	21	7	2	90	42.2
市 原	2	12	6	7	17	10	21	22	10	6	113	41.6
岩 本	8	14	8	15	17	17	19	18	11	5	132	34.1
大 箕	3	5	5	3	12	10	1	8	6	0	53	26.4
寺 内	0	0	4	3	4	8	13	5	9	4	50	50.0
小和田	9	7	0	10	13	7	12	16	6	3	83	34.9
矢の内	0	2	0	1	4	1	6	7	1	3	25	64.0
沢 野	17	21	23	28	35	44	51	58	30	5	312	37.5
奥塩久	2	1	5	1	6	7	3	18	5	1	52	50.0
旭 町	15	23	24	28	24	16	10	17	6	0	163	16.6
ウリウト	1	4	6	2	3	7	2	1	2	0	28	14.3
合 計	97	168	140	159	222	226	259	325	154	66	1816	37.4

※ **限界集落**とは、過疎化などで人口の50%以上が65歳以上の高齢者が占め、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になっている集落

青垣支所・住民センター・図書館

佐治来楽館

認定こども園あおがき

兵庫県森林動物研究センター

市原公園

青垣診療所

青垣工業団地

北近畿豊岡自動車道・青垣 IC

青垣中学校

青垣小学校

栗住野公園

竹西亭

凡例 ■ 公共・公益施設 ● 歴史・文化施設

0 500 1000 2000m